

キャラクター名
孤矢 猫彦

プレイヤー名

シンドローム	オルクス		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	支部の清掃員
	オルクス					
オプション			年齢	25	性別	男
覚醒	死	衝動	殺戮	初期侵食率	36	%
出自	疎まれた子	経験	力の暴走	邂逅	腐れ縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	2	0	0	2		4	戦闘移動	13
社会	4	0	0			4	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス/秘密兵器P		N		
猫/ミケノ	P 執着	N 不安		
恩人と裏切り者/春日恭二	P 憧憬	N 嫌悪		
ハル	P 執着	N 不安		
ナガハラトウヤ	P	N		
ブラッドテイル	P	N		
はです	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
縮地	2	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動、全力移動の直前に使用シーンの任意の場所に行ける シナリオLv回まで								
妖精の手	5	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象のダイスの目を一つ10にする								
ジャミング	5	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象の判定直前に使用 判定のダイスを-Lv								
得意領域	3	3	セット	至近	自身	自動		
効果: ラウンド中RCのダイスを+Lv								
雨粒の矢	3	3	メジャー	視界	シーン	RC	-	
効果: 攻撃力:+Lv×2の射撃攻撃 コンセ不可								
大地の牙	1	1	メジャー	視界	-	RC	-	
効果: 攻撃力:+Lv+2の射撃攻撃 同エン攻撃不可 ドッジダイス-1								
大地の加護	5	2	メジャー	-	-	シンド	-	
効果: エフェクトを組み合わせたものの攻撃力+Lv×2								
絶対の空間	3	2	マイナー	至近	自動	-	-	
効果: メイン間オルのエフェ判定ダイスを+Lv								
カ場の形成	4	3	セット	視界	単体	-	-	
効果: ラウンド間 対象の攻撃力+Lv×2								
完全なる世界	5	5	メジャー	-	-	シンド	100	
効果: 組み合わせた攻撃のダイス+Lv+1 攻+Lv×3								
猫の道	1		メジャー					
効果:								
不可視の領域	1		メジャー					
効果:								
地獄耳	1		メジャー					
効果:								

孤矢猫彦はずっと一人だった。
疎まれて生まれ愛情を知る事なく育ち、物心ついた時には薄暗い部屋の中で一匹の猫と死んだ様に暮らしていた。
猫は友達だった。猫彦のそばにずっといてくれた。寂しい時も辛い時もほんのちょっとだけ嬉しかった時も、猫は一緒だった。彼の心が休まるたった一匹の存在だった。
だけどある日猫が死んでしまった。猫彦の家の近所に住む犬に殺されたのだ。
猫彦は唯一無二の友を失ってしまった。
悲しい。悲しい悲しい悲しい悲しい悲しい悲しい悲しい悲しい悲しい悲しい悲しい悲しい悲しい悲しい悲しい。
かなしい。
そう思った時感情が、力が爆発した。
雨が降った、矢の様な雨が降って全てを穿ていった。
大地が牙をむいた。牙が全てを抉り取っていった。
力が止まらない。溢れる力が全てを壊していく。

……ふと、力が止まった。我に戻るまで目の前に男がいた。猫彦に手を差し伸べている。
『君の力はそんなものじゃない。ファルスハーツへ来い、貴様に、強大な力を与えてやろう。』
手を取った。理由は単純、はじめてひつようとされた。
猫彦に欲しいものは無かったが、彼にひつようとされた事が嬉しかった。だから彼に着いていった。
そして、短くはない日々を彼の下で過ごした。
でも、やはりというか、セルが襲撃された時に猫彦は見捨てられた。猫彦が愛される事はないのだ。
だって、生まれたときから疎まれていたのだから。

そしてUGNに見つかった。